
(一社) 山梨県サッカー協会 4 種委員会 議事録
第 1 回理事会
平成 28 年 4 月 22 日開催

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

平成 28 年 4 月 22 日 (金) 午後 7 時～9 時 20 分

〈場所〉

押原公園 2F 会議室

〈出席者〉

- ◇石原幸周委員長 (甲府) ◇小林芳昭副委員長 (峡中) ◇福田和久副委員長 (峡北)
◇風間斉副委員長 (峡東) ◆志村祐会計 (甲府) ◆藤田徹会計補佐 (郡南)
◆三澤厚司理事 (郡東) ◆末木一幸理事 (峡東) ◇望月一徳理事食育 (峡中)
◇内田淳理事 (峡中) ◆村松貴志理事 (峡北) ◇西島秀和理事 (郡東)
◇三浦善明理事 (郡南) ◇三科健二郎事業運営部長 ◆溝呂木勉審判部長
◇神取一弘技術委員長 ◆横森潔キッズ部長 ◇野口フットサル部長
◇鈴木和幸理事広報部長 ◇審判部代理：上田審判部副部長

〈議事〉

司会：福田副委員長

付議事項

1. 委員長挨拶
2. 協議事項
 - (1) 報告事項
 - ① 専門部報告
 - ② その他
3. 議題
 - (1) 2016 N a n a h o c u p について
 - (2) V F ホームゲーム出労【臨時】について (別紙)
 - (3) 4 種委員会の現状と課題について (別紙)
 - (4) J J P 2016 全国指導者研修会について (別紙)
 - (5) 熱中症対策について (別紙)
 - (6) ウェルフェアオフィサーについて
 - (7) その他

議事経過

1. 委員長挨拶

平成 28 年度総会にご苦労様でした。その後祝賀会感謝申し上げます。4 月 15 日に J F A ・ 9 地域サッカー協会訪問会議が行われあらためて関東委員長の重責を感じている、山梨県発展のため尽力していくので今後とも宜しくお願いする。

2. 協議事項

(1) 報告事項

① 専門部報告

□ 事業運営部（三科部長）

- ・ N a n a h o c u p 参加について1チーム選手数不足により出場辞退の連絡があった。偶然5チームグループだったので4チームに変更し地区理事を通じて参加チームに通知した。

□ 審判部（代理・上田憲男副部長）

- ・ 2016年新規審判取得講習会が開始した。第1回5月7日（受付終了）、以降、第2回6月11日、第3回7月9日、第4回8月28日に行われる。
- ・ 3級審判トレセンを毎月第2火曜日夜7時9時30分まで実施している。審判資質向上のためにご協力をお願いする。

□ 技術委員会（神取委員長）

- ・ 4月24日第1回県トレセンを日世南アルプススタジアムで実施。U-12、U-11、女子を予定している。
- ・ U-11は新規となりF P 52名、G K 2名で開始する。
- ・ 女子はU-12・11合わせて50数名
- ・ U-12第1回マッチデーは小瀬補助で開催する。
- ・ 5月1日ヴァンタス交流戦（5月・8月）にU-11県選抜、女子県選抜が参加する。J下部強豪との対戦を通じて強化を図る。

□ 広報部（鈴木広報部長）

- ・ 2016年度登録予定77チームすべての承認が終了した。
- ・ 登録料支払いについて登録システム変更後、承認後の支払いがされていないチームがある。登録承認がされても支払いがないと最終登録が完了していないことになるので注意してほしい

□ キッズ部 なし

□ フットサル部（野口フットサル部長）

- ・ 5月21日からバーモントカップの予選が始まる。

② その他

- 9地域サッカー協会訪問会議「関東サッカー協会」について（石原委員長 別紙）
田嶋幸三J F A会長方針説明では大変熱い思いが聞き取れた。育成日本復活のために育成の充実やグラスルーツなくして代表の強化なし、など4種の取り組みは非常に大事なものと改めて感じた。

3. 議題

(1) 2016 N a n a h o c u p について（委員長）

① 5月8日開会式について

- ・ 開会式は全チームユニホームで参加する。（当日の天候により配慮）
- ・ 開会式は8時30分より 役員集合は午前7時30分集合
- ・ 選手宣誓、協賛社旗行進は昨年度優勝チーム（V F 甲府）より選出する。
- ・ 入場行進の詳細は後日
- ・ 各地区受付準備（会場準備とプログラム配布）

■決勝日は7月10日で変更はない。

- ・選挙の関係で7月3日決勝戦となる場合は会場が確保できていなかったが、本日予定通り7月10日に決勝戦を行うことに決定した。

(2) V F ホームゲーム出労【臨時】について（委員長 別紙）

- ・8月13日（土）試合詳細は未定 集合は試合開始3時間30分前となる。
- ・4種委員会30名の要請が県協会あり対応していく。

■地区5名×6地区で対応したい、7月29日（金）までに氏名を委員長宛て送付する。

■4月24日（日）の出労者確認

- ・石原・小林・風間・藤田・望月・村松・三浦・三科・横森・溝呂木

(3) 4種委員会の現状と課題について（望月理事 別紙）

【提案理由】 抜粋

- ・平成27年9月から12月に47FA基盤強化研修会に参加したことから提案に至った山梨県では人口減少にともない10年後には4種年代が約2万人減少するデータがある。登録人数の減少から活動に影響が出ることも考えられる。10年後を見据えて今から何ができるか検証していく必要が有るのではないか。

【環境分析】 抜粋

- ・キッズの活動は今後のサッカー人口の増加に影響があることから、4種に多くの子どもを取り入れるために、役員・選手・保護者・選手がサッカーを楽しみ、なおかつ競技力向上を図るための事業の見直しが必要と考える。

【概要】 抜粋

- ・年間事業を見直し、キッズが継続的に活動できる事業計画が必要。
- ・人口減少による登録費収入減の対応として、自立した収支計画とスポンサーシップ等の検討が必要。
- ・キッズ巡回サッカーを年間通じて行っているが単発に終わってしまっている。
- ・各地域で年1回程度フェスティバルを行っているが、チームにつながる方法とはなっていない。
- ・今後を見据えた新たな委員会の設置

地域が主体になって活動し、チームにつなげる。（委員長）

種別を超えてキッズ部を中心に2種・3種にもかかわっていただきたい。（委員長）

(4) J J P 2016 全国指導者研修会開催について（委員長 別紙）

■ 事業名 J F A / J リーグ協働プログラム 指導者研修会

■ 主催 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人日本プロサッカーリーグ 都道府県サッカー協会

■ 目的 日本代表強化指針を共有し、各育成年代指導への反映、日本全体で同じ方向性を持った育成・強化が行われることを目指す。

■ 参加対象者 47FA内の特にU-15、U-12年代の指導者

■ 期間 2016年4月1日～12月31日

- 講師 JFAユースダイレクター
- リフレッシュ研修会としての実施 ポイント講義5ポイント、実技5ポイント
- ※ 山梨県ユースダイレクターの日程調整として、7月31日(日)または10月2日(日)を対象とする。

(5) 熱中症対策〈ガイドライン〉について (委員長 別紙)

- ・対象は日本国内で開催される全ての試合、全国大会だけでなく地域や都道府県、市町村単位の試合についてもガイドラインで規定される。
- ・ガイドラインに違反した場合は懲罰規定により懲罰の対象となる。しかしそれ以前の問題として選手等の命を守るための対策であることを十分認識しガイドラインを遵守することが必要。
- ・原則として7月～9月に開催される大会は必須、地域によってはその前後の期間も大会も対象となります。
- ・WBGTとは湿球黒球温度のことで、気温とは異なり「暑さ指数」と呼ばれ熱中症予防の目安となる数値。①湿度、②日射・輻射、③気温の3つを取り入れた指標
- ・日本体育協会の運動指針では、熱中症計で28℃以上が「厳重警戒」、31℃以上が「原則中止」となっている。特に31℃以上で皮膚温より外気温の方が高くなることでカラダから熱を逃すことができない危険な状況になる。
- 山梨県で7月～9月を対象とする大会はリーグ戦とNanahocup 関東予選となる。
- 関東大会も関係する。
- 県4種委員会としても事前の準備や当日の対応について精査し対応をしていかなければならない。役員全員のコンセンサスを構築する。
- 各地域においても再度案内をして十分注意を促す。

(6) ウェルフェアオフィサーについて

※28年度活動基本方針5の(4) ウェルフェアオフィサー研修の取り組みを行う。

・サッカーに関わる全ての人々が安全にサッカーを楽しむことができる環境を創り出すこと、また、サッカー活動においてリスペクト精神が浸透し、オンザピッチ・オフザピッチでフェアなプレーを確保することが大切であり、誰もがリスペクトやフェアプレーの考え方を理解することが必要である。このような中で4種委員会もサッカーを楽しむための良い環境づくりに取り組むうえで、役員全員がウェルフェアオフィサーの資格を持ち、リスペクトやフェアプレーを啓発促進し暴力差別等の予防活動を通じて、問題を未然に防ぐ、顕在化した諸問題に対応解決を図るとともに、問題の内容や重大さによって司法機関や諸関連組織への橋渡しとしての役割を担う。

尚、山梨県サッカー協会では今年度ウェルフェアオフィサー資格取得講座を開催する。

(7) その他

①28年度理事会予定について (委員長)

- ・第1回4月22日(金)、第2回7月15日(金)、第3回9月2日(金)
- ・第4回11月18日(金)、第5回平成29年1月13日(金)、第6回2月10日(金)
- ・第7回3月10日(金)を予定している。

②28年度評議員会について (委員長)

- ・平成28年9月10日（土）午後2時～ 会場未定
- ・27年度役員退任者送別会 リゾートイン扶養

③チビリンピック全国大会（委員長）

■開催：平成28年5月3日～5日 日産フィールド小机・日産スタジアム（決勝）

■代表チーム

- 北海道・北海道コンサドーレ札幌U-12
- 東北・MIRUMAE・FC U-12（岩手）
- 関東1・大宮アルディージャジュニア（埼玉）
- 関東2・JACPA東京FC（東京）
- 東海・名古屋グランパス三好U-12（愛知）
- 北信越・松本山雅FC（長野）
- 関西・ディアプロッサ高田FC U-12（奈良）
- 四国・屋島FC（香川）
- 中国・福山ローザスセレソン（広島）
- 九州・ソレッソ熊本U-12（熊本）

④フェアプレー賞について（委員長 別紙）

- ・日本サッカー協会のリスペクト・フェアプレー委員会フェアプレー賞選考基準が改定となった。

1. フェアプレー賞選定の考え方

- ・リスペクトあふれるフェアプレーを行うチームを讃えることが基本
- ・マッチコミッショナー又はTSG（テクニカルスタディーグループ）が評価
- ・評価対象は「警告と退場」、「ポジティブプレー」、「相手競技者に対するリスペクト」、「審判団に対するリスペクト」、「チーム役員の態度」、「観客の態度」の6項目

2. 対象大会

- ・評価者の派遣ができる大会が基本、整わない場合は旧基準
- ・マッチコミッショナー、TSGの派遣を増やす
- ・リスペクトやフェアプレーを促進させ、サッカーの楽しさを増大させるためにも、授与対象大会を増やしていく。

3. 評価基準の統一

- ・警告退場（審判団の一定基準で判断されている）以下の項目は、マッチコミッショナー・TSGが評価することになり基準の統一が必須。
- ・基準統一のため、マッチコミッショナーやTSG研修会で評価基準統一について研修等をおこなう。

4. 地域/都道府県協会の大会においてもJFA新基準による評価を進める。

□選定基準

- ・対象大会参加チームの試合について評価、原則としてノックアウト方式では大会ベスト4以上のチーム、リーグ戦については全チームの中から最もフェアプレー点が高いチーム。
- ・フェアプレー賞授与チームにはその証として、フェアプレー・トロフィーを贈る

■山梨県U-12 リーグでは、評価表を用いてすでにフェアプレー賞有効活用に取り組んでいる。今後も内容を精査しリスペクト推進委員会を中心に取り組んでいく。

⑤国際サッカー評議会について（委員長）

- ・2016／2017 競技規則の改定及び改定の大きな変更点

I F A B 130 年の歴史の中で最も広範囲な改定、競技規則がより身近でわかり易いものにすべく構成を変え、用語を整理し、競技規則の理解と解釈、適用の一貫性を向上させた。

【大きな変更点】

- ①「決定的な得点の機会の阻止」について レッド→イエロー
- ②競技者の数：延長戦における4人目の交代について
- ③審判団へのビデオアシスタントについて
- ④その他

- ・キックオフは、どの方向にボールを蹴っても良いとした。

- ・警告退場を伴った反則時に、その反則を受けて怪我をした競技者は、フィールド内で短時間の医療的処置を受けることが可能となった。そして、プレーすることが可能と判断されれば、フィールドから去ることなく、そのままプレーすることを可能とした。

【2016／2017 年競技規則の改正の施行時期】

- ・競技規則の変更は6月1日から施行される。但し、その時期がリーグ戦の期間中である場合は、新シーズン開幕まで競技規則の変更の導入を遅らせることも可能である。

■4種としてはリーグ戦が開幕していることから来年度からの導入となる。但しリーグにおいては後期からの可能性、全少県予選においては上位大会の要項に従うこともある。

⑥食育プロジェクト（望月理事）

- ・一部商品（もち麦）が品薄となり一定量の確保をお願いしている状況がある。販売状況も思わしくない。活動資金の調達やスポンサーシップの考えから前向きな取り組みを全チームにお願いする。

⑦選抜大会 要項 技術委員会（神取技術委員長）

- ・前回のU-12 選抜大会検証により、今回11人制を採用したが、8人制の目的である個の育成、ボールタッチの回数やゴール前での攻防が引き出せない大会となってしまった。得点シーでは敗者の全試合で（PKを除）攻防からの得点は0であった。関東選抜での意見も、8人制で68m×50mのピッチを推奨している。技術としては次回選抜大会要項を見直し8人制・通常ピッチサイズに戻す方向である。

以上

議事録作成 平成28年4月29日
広報部 鈴木和幸